

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

本年4月小学校6年生と中学校3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。今後、本調査の結果をもとに、本市の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校での指導の充実や改善等に役立てていきます。

1 調査の内容

(1) 教科に関する調査

小学校調査は、国語及び算数。中学校調査は、国語及び数学。
出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとなっています。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

(2) 質問紙調査

児童生徒の学習意欲、学習方法、学習環境、生活に関する調査です。

2 教科に関する調査結果

(1) 本市・県・全国の正答率

(%)

教科	小学校6年生			中学校3年生			
	実施年度	本市	県	全国	本市	県	全国
国語	R6年度	66	69	67.7	56	56	58.1
	R5年度	64	67	67.2	69	70	69.8
算数・(数学)	R6年度	63	62	63.4	52	50	52.5
	R5年度	59	61	62.5	47	48	51.0

(2) 調査結果の考察

【小学校】

全国と比較すると、国語・算数ともに全国平均とほぼ同じ結果でした。全国との差は縮まりつつありますが、全国平均を上回るためには「あと1問」の正解が必要です。その「あと1問」に向けた課題と対策は次のとおりです。

〈国語〉・・・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる問題

〈算数〉・・・道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題

〔対策〕・・・国語の授業では、自分の考えを伝える際は、目的や相手に応じて材料を整理し、より効果的に伝わるよう表現を工夫することの大切さを指導します。算数の授業では、数量の関係や自分の考えの根拠等を言葉や数を用いて記述できるよう発表や説明の機会を充実させていきます。

【中学校】

全国と比較すると、国語はわずかに低い結果でしたが、数学は全国との差が縮まり、ほぼ同じ結果になりました。各教科で特に課題が見られたのは以下の問題です。

〈国語〉・・・本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する問題

〈数学〉・・・等式 $6x + 2y = 1$ を y について解く問題

〔対策〕・・・国語の授業では、文章の特徴を踏まえ、必要な情報を短時間で取り出し、要約しながら正しく読む力を伸ばすために、授業に新聞等を活用していきます。数学の授業では、ある文字について解くことの意味を理解し、等式を目的に応じて変形することができるよう一人一台端末を活用して、基本的な問題を定着するまで繰り返し指導していきます。

3 質問紙調査結果（一部抜粋）

【小学校】

(%)

質 問 項 目	本市	県	全国
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	87.3	85.0	83.5
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）※数値は1時間以上勉強していると回答した児童の割合	57.4	58.1	54.6
将来の夢や目標を持っていますか。	80.4	86.5	82.4
自分には、よいところがあると思いますか。	83.2	82.1	84.1
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	88.9	87.5	86.3

〔 考 察 〕

これまでの調査で、本市の児童は地域行事への参加率が高いことが分かっていますが、それに伴い、地域や社会に貢献したいと考えている児童も多いことが伺えます。

家庭学習の状況については、家庭学習にかける時間が1時間以上と回答した児童が昨年度よりも増え、全国を上回りました。反復練習や一問一答形式の問題だけでなく、自分の考えを文章で書く等の演習問題に取り組みさせることで、家庭学習を充実させるような指導を行います。

一方、夢や目標を持っていると回答した児童が全国・県に比べると少なく、自分にはよいところがあると回答した児童も全国を下回る結果となりました。学校では、学級の友達との関わり合い・話し合い活動を充実させ、互いのよさを認めたり、主体的な姿勢などを称賛したりして、子供に自信をもたせるような指導を継続していきます。

【中学校】

(%)

質 問 項 目	本市	県	全国
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	81.4	78.3	76.1
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）※数値は1時間以上勉強していると回答した生徒の割合	63.2	62.5	64.3
将来の夢や目標を持っていますか。	72.8	69.2	66.3
自分には、よいところがあると思いますか。	88.0	82.6	83.3
1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。	53.8	55.0	64.8

〔 考 察 〕

これまでの調査から、中学3年生も全国・県平均に比べて、地域行事への参加率が高く、地域や社会に貢献したいと考えている生徒がかなり多いことが伺えます。

家庭学習の状況については、家庭学習の時間が1時間以上と回答した生徒は全国・県と同程度だったものの、2時間以上・3時間以上と回答した生徒は少なく、家庭学習にかける時間が不足していると思われます。将来の夢や目標を持っている生徒、自分のよさを感じている生徒は、全国・県と比べて多く、今後もコミュニケーション力を伸ばし、発揮する活動の工夫・改善を図り、向上心や自尊感情等を高めていきます。

